

## 令和7年度 キッズフロンティア I 番館(放課後等デイサービス)自己評価総括表

○保護者評価実施期間	2026年3月1日			～	2026年3月16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31		(回答者数)	20		
○従業者評価実施期間	2026年3月1日			～	2026年3月16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5		(回答者数)	5		
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月20日						

### ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校での出来事や宿題の取り組みについて保護者と情報共有しながら、放課後の時間を有意義に過ごせるよう支援しています。	宿題サポートの時間を設け、学習習慣の定着に向けた個別の声かけと見守りを丁寧に行っています。	学校との連携をさらに深め、担任教師からの情報も踏まえた一貫した支援ができる体制を構築します。
2	余暇活動の充実を図り、お子さまが「楽しかった」と思える時間をつくることを大切に活動プログラムを提供しています。	スポーツ・工作・料理など多彩な活動の中からお子さまが選べる機会を設け、自己決定の経験を積めるよう工夫しています。	地域のイベントや施設見学など、外部での体験活動の機会を増やし、社会経験の幅を広げる取り組みを強化します。
3	卒業後の生活を見据えた自立支援の視点を持ちながら、日常生活スキルの習得につながる活動を継続的に取り入れています。	身だしなみ、あいさつ、時間管理など社会生活に必要なスキルを、日常の活動の中で自然に学べる場づくりをしています。	進学・就労を見据えたライフスキルプログラムを充実させ、長期的な視点での自立支援を強化します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎の対応時間が集中するため、帰宅後の保護者への報告や引継ぎが短時間になりやすく、伝達内容が不十分になることがある。	送迎業務とその後の記録・報告が重なる時間帯に、スタッフの負担が集中しやすい構造的な問題がある。	送迎担当と室内担当を明確に分け、引継ぎ時間を確保することで、保護者への丁寧な報告を実現する体制を整える。
2	高学年と低学年のお子さまが同じ空間で過ごす時間帯があり、活動内容や関わり方の調整が難しい場面がある。	異年齢混在の時間帯における活動設定のノウハウや引継ぎが十分に整備されておらず、スタッフの判断に委ねられやすい。	年齢・発達段階別のグループ活動の時間設定を見直し、それぞれに合ったプログラムが提供できるよう環境を整える。
3	個別支援計画に基づいた目標の達成状況の確認が、保護者や本人へ十分にフィードバックされていない場合がある。	計画の評価・振り返りが事業所内で完結してしまい、保護者や関係機関との共有が後回しになりやすい。	半期ごとの報告書を作成・共有する仕組みを整え、目標の進捗を保護者と共に確認・更新できるプロセスを確立する。